鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想（案）【ダイジェスト版】

＜鶴ヶ島駅周辺地区の将来像（目指すべき最終目標）＞

歩きたくなる くつろぎ と にぎわい のまち

鶴ヶ島駅周辺地区では、今後、更なる人口減少・少子高齢化の進行が見込まれます。
そのため、安全で快適な歩行空間の創出や魅力ある商店街づくり等により、居心地の良い、歩行者中心の充実した暮らしの確保を図ります。また、ガーデンパークの活用や新たな交流拠点の整備等により、地域住民をはじめとした人々の憩い・交流・にぎわいが創出されるよう、様々な関係者が協働しながら一体的なまちづくりに取り組みます。
そして、鶴ヶ島駅周辺地区がいつまでも活力にあふれ、誰もが笑顔になり、安心して住み続けられる、そんな好循環が生まれるまちを目指します。

＜まちづくりの４つの方針（将来像の実現に向けた取組）＞

安全で居心地が良く歩きたくなる**道路空間**の形成	生活を支え活力を生み出す魅力ある**商店街**づくり	地域と一体となった**ガーデンパーク**の活用	公共施設再編による**地域交流施設**の整備
まちづくり方針図①（鶴ヶ島駅通り）	まちづくり方針図①		
まちづくり方針図②（共栄鶴ヶ丘線）		まちづくり方針図②	まちづくり方針図②

＜まちづくりの主要課題＞

道路交通の安全性向上	快適で歩きやすい歩行空間の確保	商店街の魅力向上とにぎわい創出	ガーデンパークの利活用	新たな交流拠点の整備

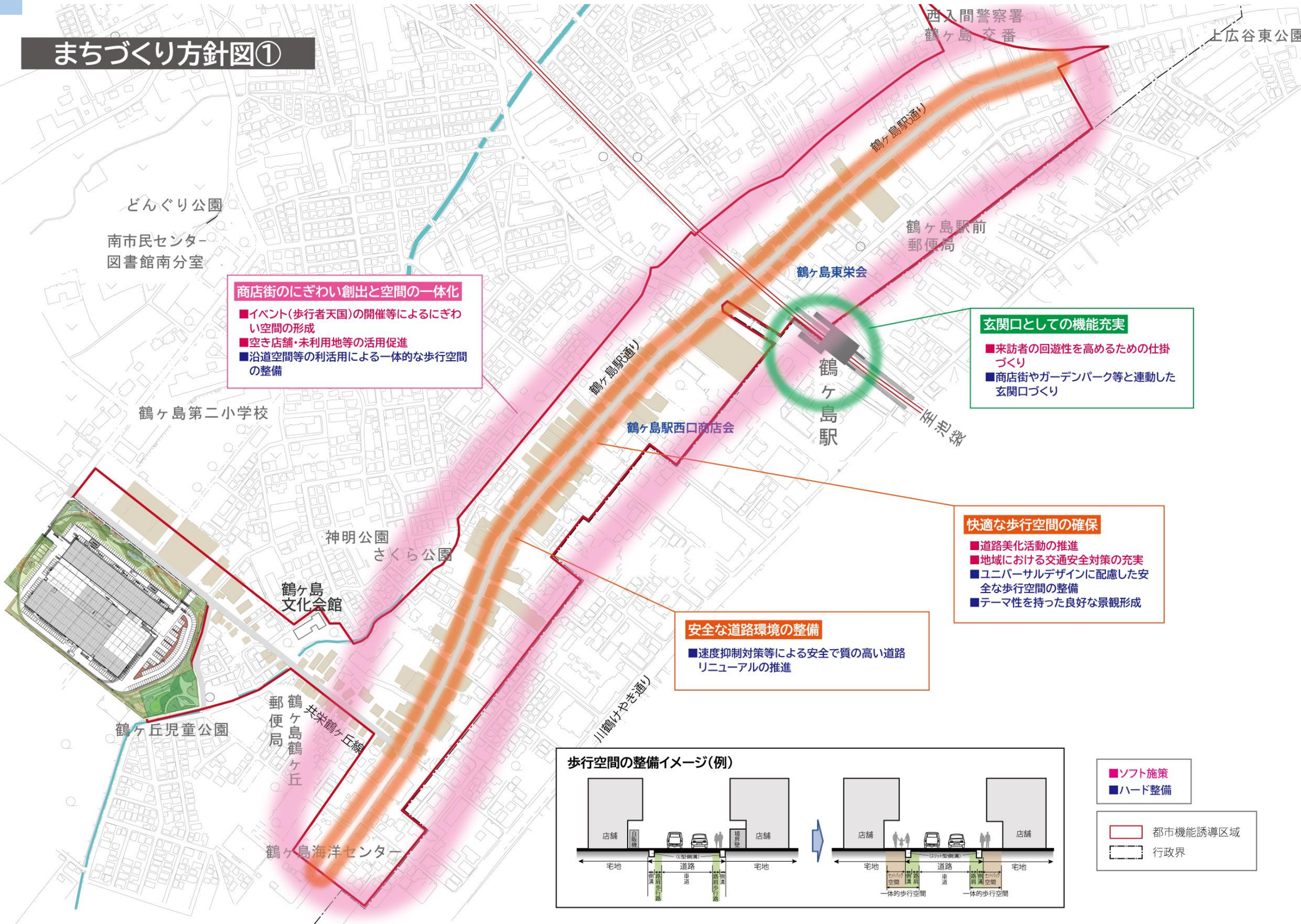
＜地区の現況＞

■概況
・戦後の開拓を経て、早期に市街化が進行し、古くから本市の活力をけん引
・近年は、急速な人口減少・少子高齢化が進んでおり、今後もその傾向は続く見込み

■市民意見（市民アンケート、団体ヒアリング、まちづくりワークショップ）
・「道路空間の整備」、「商店街の活性化」、「歩くことが楽しいと感じられるまちの整備」を求める意見が多い
・ガーデンパーク及び新たな交流施設は、期待する声がある一方で、居住環境への影響を懸念する声もある

鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想（案）【ダイジェスト版】

まちづくり方針図①



商店街のにぎわい創出と空間の一体化

- ■イベント（歩行者天国）の開催等によるにぎわい空間の形成
- ■空き店舗・未利用地等の活用促進
- ■沿道空間等の利活用による一体的な歩行空間の整備

玄関口としての機能充実

- ■来訪者の回遊性を高めるための仕掛づくり
- ■商店街やガーデンパーク等と連動した玄関口づくり

快適な歩行空間の確保

- ■道路美化活動の推進
- ■地域における交通安全対策の充実
- ■ユニバーサルデザインに配慮した安全な歩行空間の整備
- ■テーマ性を持った良好な景観形成

安全な道路環境の整備

- ■速度抑制対策等による安全で質の高い道路リニューアルの推進

歩行空間の整備イメージ（例）

- ■ソフト施策
- ■ハード整備

- 都市機能誘導区域
- 行政界

鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想（案）【ダイジェスト版】

まちづくり方針図②

ガーデンパーク

地域住民が日常利用できる公園づくり

- ■子どもから高齢者まで誰もが集える公園づくり
- ■公園・緑地を活用した地域住民の地域活動や健康づくりの促進
- ■誰もが快適に過ごすためのルールづくり
- ■利便性向上や防犯に向けた取組
- ■ナチュラルガーデンの育成を通じた豊かな生活環境の創出

イベント実施等による特別利用

- ■鉄道やナチュラルガーデンをテーマとした事業の実施
- ■地産地消・飲食イベント等の実施
- ■地域団体や周辺企業等と連携した取組の実施

地域交流施設

地域活動の拠点形成

- ■柔軟な地域活動の促進
- ■子どもから高齢者まで誰もが気軽に利用できる機会の創出
- ■自治会活動や行事を支える機能の充実
- ■多様なニーズに対応した機能配置
- ■多世代交流を促す利用しやすい機能配置

歩いて行ける身近な行政窓口の充実

- ■地域福祉・健康づくりの場としての活用
- ■市民センターや図書館機能の継承
- ■地域に密着した市役所窓口の設置

利便性向上に向けた新たな機能導入

- ■休憩スペースやカフェ機能の導入
- ■ガーデンパークとの一体的な活用
- ■水路や水路沿いの一体的な活用

道路整備の推進

- ■安全性向上に向けた道路整備の推進

快適な歩行空間の確保

- ■道路美化活動の推進
- ■地域における交通安全対策の充実
- ■ユニバーサルデザインに配慮した安全な歩行空間の整備
- ■テーマ性を持った良好な景観形成

鶴ヶ島第二小学校
神明公園
鶴ヶ島文化会館
鶴ヶ丘児童公園
鶴ヶ島鶴ヶ丘郵便局
共栄鶴ヶ丘線
川鶴けやき通り
鶴ヶ島海洋センター

■ソフト施策
■ハード整備

都市機能誘導区域
行政界

ガーデンパークの完成イメージ図